

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	内容	令和3年度実績	進捗状況	課題等	コロナ禍を踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
1 最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる	1 障害者地域生活支援事業	障害のある人の自立した日常生活や社会生活のため、地域の特性や利用者の状況に応じ、日常生活用具の給付、権利擁護、手話等の通訳、移動支援等のサービスの提供等を行います。	⑨障害者の地域生活を支援するため、各種地域生活支援事業を実施した。 また移動支援等におけるサービスについて登録事業所がないことから例規を改正し、サービスの利用をしやすいよう整備を図った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩無し	⑩無し	維持	⑩社会福祉課
	2 居宅介護福祉用具購入費の給付・居宅介護住宅改修費の給付	自立した生活環境を整えるため、居宅介護福祉用具を購入したり、段差解消などの住宅改修を行う際に支援します。	⑪介護認定を受けた者へケアマネジャーがケアプランに基づき、福祉用具の購入や段差解消などの住宅改修を支援した。 福祉用具購入 318件 住宅改修 164件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪無し	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
	3 食の自立支援事業	在宅のひとり暮らし高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように、安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施します。	⑪安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施した。 配食数 16,896食	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪利用者への栄養改善の指導方法等。	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
	4 認知症高齢者の見守り体制の強化	地域での認知症徘徊高齢者見守り体制を強化するため、「認知症サポーター養成講座」の開催や「わんわんパトロール隊」の設置、見守りシールの活用を推進します。	⑪社会福祉協議会と協働し、市内の小中学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催した。 認知症サポーター養成講座 4件 「わんわんパトロール隊」は新聞、広報誌、HPで周知活動を実施した。 わんわんパトロール隊 7件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪無し	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
	5 緊急通報システムの貸与	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病等緊急事態に関する日常生活上の不安を解消するため、家庭用端末機・ペンダント型無線発信機または携帯端末型緊急通報装置を貸与します。	緊急ボタンを押すだけで、安心センターと通話ができ、状況に応じて協力員や親族への連絡や救急車の出動を要請した。また、緊急通報以外にも看護師が生活や健康面での不安や悩み事などの相談を24時間365日体制で受け付けている。実績104名	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
	6 救急医療カプセルの配布	65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器(カプセル)を配布します。	⑪高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器(カプセル)を配布した。 新規配布数 55件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪医療機関情報や緊急連絡先等、本人の情報の更新が課題となっている。	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
2 心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす	1 健康教育・健康相談の実施	市民の健康意識の高揚を図るため、「生活習慣病予防教室」や検診後の健康相談など、さまざまな健康教育を実施します。	⑫新型コロナウイルス感染症予防対策をとり工夫しながら、生活習慣病予防教室や検診後の健康相談等を実施した。 生活習慣病予防教室 2回1コース 参加人数 実人数22人 延人数35人 楽ラク筋トレ教室 4回1コース 参加人数 実人数13人 延人数46人 女性の健康づくり教室 1回実施 参加人数 17人 検診後の健康相談 9回実施 参加人数 43人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫健康教育や健康相談等へ参加されない方に対する健康づくりの取り組みに向けた普及啓発。	⑫健康教育については、感染対策のため実施会場を変更し人数制限をかけて実施。	維持	⑫健康支援課保健予防室
	2 総合検診の実施	国民健康保険加入者の20～39歳対象の「フレッシュ健診」、40～74歳対象の「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者対象の「後期高齢者健康診査」を実施します。 また、健診受診者に対し、早期からの生活改善を促し生活習慣病予防または重症化の予防を図るため、保健指導を行います。	⑬⑭総合検診(集団検診)新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、施設健診(個別検診)は実施期間を拡大し実施した。 ・受診通知や受診医療機関からの勧奨の効果により、みなし健診も含めた特定健診受診率の向上につながった。 特定健康診査 2,500人受診 (昨年比1,376人増加) 後期高齢者健康診査 541人受診 (昨年比108人増加) 健康診査 8人受診 フレッシュ検診 74人受診 (昨年比13人増加)	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬⑭今後施設健診を多くの人に利用してもらうよう引き続き広報等により繰り返し受診を呼びかける。引き続きAIによる特定健診受診率向上事業により勧奨を続け受診率向上を図る。	⑬⑭総合検診(集団検診)が実施できなかったが、令和4年度は予約制にすることで集団検診の実施することを図る。 集団検診は感染症のまん延状況により計画通りの実施が難しくなる可能性もあることから、施設健診の活用を推進していく。	維持	⑬保険年金課 ⑭健康支援課保健予防室
	3 各種検診の実施	がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診を実施し、各疾患の早期発見に努めます。	⑫昨年度に続き、総合検診(集団検診)は中止。肝炎ウイルス検診は無料対象者を令和2、3年度対象者のものとし胃がん検診と同時実施。前立腺がん検診は実施できなかった。子宮頸がん検診の集団検診は再開。その他のがん検診は、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら実施した。令和2年度に受診方法が変更され受診率の著しい低下がみられたが、若干の増加がみられている。 肺がん検診 3,811人受診 (昨年比136人増加) 胃がん検診 796人受診 (昨年比145人増加) 骨粗しょう症検診 355人受診 (昨年比7人減少) 大腸がん検診 3,741人受診 (昨年比403人減少) 乳がん検診 2,752人受診 (昨年比146人増加) 子宮頸がん検診 2,377人 (集団検診) 268人受診 (一昨年度 69人減少) (施設検診) 2,109人受診 (昨年比84人増加)	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫集団検診を実施する際に各地区の会場で実施するため、感染対策を統一して実施することが難しい。	⑫集団検診は新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、実施の可否も含め対策をとりながら実施。受診人数、検診に係る時間を配慮し、必要に応じ予約方法や会場の集約を検討する。 新型コロナウイルス感染症による受診控えについて、検診は不要不急にあたらないことを啓蒙していく。	維持	⑫健康支援課保健予防室

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	内容	令和3年度実績	進捗状況	課題等	コロナ禍を踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
	4 地域リハビリテーション活動の支援	リハビリテーション専門職等が行う介護予防の取り組みを総合的に支援し、介護予防の機能強化を図ります。	通いの場にリハ専門職が関わり、介護予防の推進を図った。 老人クラブ 14件 サロン等 5件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪近隣のリハ専門職等の連携	⑪無し	維持	⑪健康支援課 (高齢者支援課)
3 子育てしやすい地域をつくる	1 子ども医療費の助成	0歳から中学校3年生までの子どもにかかる医療費（保険適用）の一部を助成します。	⑬令和4年3月末現在の子ども医療費助成事業総額 約58,711千円	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬高校生までの子ども医療費助成について検討する	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	2 こんにちは赤ちゃん事業	生後3～4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行い、支援が必要な家庭について適切なサービス提供につなげます。	⑭新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問を拒む家庭も多くみられたため、無理のない程度に保健師が中心となって事業を継続した。こんにちは赤ちゃん訪問員による訪問はコロナの関係でできなかったため、保健師による訪問を実施した。	△計画より遅れている	⑭出生数が減少傾向であるため、こんにちは赤ちゃん訪問体制の再構築。全戸訪問にむけて管理していく。	⑭コロナ感染状況に応じて、保健師等が訪問を実施。	維持	⑭健康支援課保健予防室
	3 妊娠期からの育児支援	健やかな妊娠・出産を実現し、安心して育児ができるよう、「両親学級」と「離乳食教室」を実施し、妊娠期から乳児期における育児支援を行います。	⑮両親学級（妊婦対象）、離乳食教室については中止したが産婦を対象に教室を実施した。 10回実施 参加人数 延39人 離乳食教室については、訪問で個別対応した。 4・9か月児相談の際には離乳食の展示を行った。 令和3年度には産後ケア事業を開始することができた。	◎計画より進んでいる	⑮4・9か月児相談にて集団教育を中止し個別対応としていたが、離乳食が進まないケースが増加。	⑮4か月児相談にて集団教育を感染対策をしながら再開していく。 両親学級（妊婦対象）の再開。（日曜日開催）	維持	⑮健康支援課保健予防室
	4 ファミリー・サポート・センター事業	地域における育児の相互援助活動として、仕事との両立や子育て中の方の育児支援を行うため、援助を受けたい人と、援助ができる人を適切につなぎ、結びつけます。	⑯今年度は、継続利用を希望する家庭が多く、利用件数が59件となった。保護者が仕事と子育てを両立するための支援や、片親家庭への支援が多かった。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯継続して支援を受けたいといった家庭が増えているため、援助ができる人を各地区に増やしていく必要がある。	⑯無し	維持	⑯子ども教育課
	5 発育発達支援事業	乳幼児健診や相談、「にこにこ教室」等で、発育発達に心配がある子どもを対象に、専門家の助言を受けながら小集団での遊びの場「きらりんくらぶ」などにつなげます。	⑰乳幼児健診や「にこにこひろば」、「にこにこ教室」の様子から発達に心配がある子どもを個別相談や「きらりんくらぶ」に繋げることができた。また、「きらりんくらぶ」から安房特別支援学校幼児部への入学に繋げることができた。 保健師、子ども教育課、支援学校、病院などと連携を取ることができた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑰引き続き、保健師、子ども教育課、支援学校、病院などとの連携を大切に、早期発見、早期認知、早期療育ができるようにしていきたい。	⑰無し	維持	⑰子ども教育課
	6 児童遊園や公園の管理・整備	児童遊園や公園の管理や整備を行います。	⑱旧南三原小学校等跡地公園整備工事実施設計業務を進めた。地域へ公園計画の周知を行うとともに、意見の照会を行い、実施設計の参考とした。 ⑲多田良磯の脇児童遊園について、行政区と協議し遊具をすべて撤去し廃止した。 また、児童遊園すべての遊具点検を実施した。点検の結果、富浦中央児童遊園コンビネーション遊具及び砂場屋根撤去工事、白渚児童遊園ブランコ修繕、小戸児童遊園トイレ水漏れ修繕を行った。	⑱△計画より遅れている。 ⑲○ほぼ計画どおり進んでいる	⑲県と協議したところ、都市計画法第29条に基づく開発行為許可の手続きが必要となったことから、令和4年度は申請業務を進める。 ⑲児童遊園については、引き続き遊具点検を実施し、安全対策を行うとともに、老朽化した遊具の撤去や行政区と協議し廃止するか検討していく。	⑲特になし ⑲児童遊園に手洗い等ないところが多い。遊び場の確保では子ども園の園庭開放で対応していきたい。	◎維持 ◎縮小	⑲教育総務課 (学校再編整備課) ⑲子ども教育課
	7 校庭・園庭の一般開放	地域の子どもの遊び場、市民の健康づくりやコミュニティの場として、小学校、子ども園および幼稚園の校庭・園庭を開放します。	⑳南房総市学校施設の開放に関する規則の規定に基づき実施した。	☆目標達成（事業完了）	⑳無し	⑳無し	維持	⑳教育総務課